

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公表番号】特表2007-504229(P2007-504229A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-525369(P2006-525369)

【国際特許分類】

C 07 D 213/69	(2006.01)
C 07 D 213/74	(2006.01)
C 07 D 213/84	(2006.01)
C 07 D 213/85	(2006.01)
C 07 D 401/14	(2006.01)
C 07 D 405/14	(2006.01)
C 07 D 409/14	(2006.01)
C 07 D 413/14	(2006.01)
C 07 D 417/14	(2006.01)
C 07 D 491/048	(2006.01)
A 61 K 31/444	(2006.01)
A 61 K 31/455	(2006.01)
A 61 K 31/4709	(2006.01)
A 61 K 31/4725	(2006.01)
A 61 K 31/497	(2006.01)
A 61 K 31/501	(2006.01)
A 61 K 31/506	(2006.01)
A 61 K 31/555	(2006.01)
A 61 P 1/14	(2006.01)
A 61 P 3/04	(2006.01)
A 61 P 25/00	(2006.01)
A 61 P 25/04	(2006.01)
A 61 P 25/08	(2006.01)
A 61 P 25/16	(2006.01)
A 61 P 25/18	(2006.01)
A 61 P 25/20	(2006.01)
A 61 P 25/22	(2006.01)
A 61 P 25/24	(2006.01)
A 61 P 25/28	(2006.01)
A 61 P 25/30	(2006.01)
A 61 P 39/00	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
C 07 D 213/79	(2006.01)
C 07 D 401/12	(2006.01)
C 07 F 7/22	(2006.01)

【F I】

C 07 D 213/69	C S P
---------------	-------

C 07 D 213/74	
---------------	--

C 07 D 213/84	Z
---------------	---

C 07 D 213/85	
---------------	--

C 07 D 401/14	
---------------	--

C 0 7 D 405/14
 C 0 7 D 409/14
 C 0 7 D 413/14
 C 0 7 D 417/14
 C 0 7 D 491/048
 A 6 1 K 31/444
 A 6 1 K 31/455
 A 6 1 K 31/4709
 A 6 1 K 31/4725
 A 6 1 K 31/497
 A 6 1 K 31/501
 A 6 1 K 31/506
 A 6 1 K 31/555
 A 6 1 P 1/14
 A 6 1 P 3/04
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 25/04
 A 6 1 P 25/08
 A 6 1 P 25/16
 A 6 1 P 25/18
 A 6 1 P 25/20
 A 6 1 P 25/22
 A 6 1 P 25/24
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 25/30
 A 6 1 P 39/00
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 C 0 7 D 213/79
 C 0 7 D 401/12
 C 0 7 F 7/22 S

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

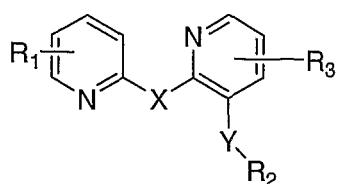
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)により表される化合物、あるいは、薬学的に許容されるその塩。

【化1】

式中、R₁は、以下から選択され：

1) 水素、

- 2) C₁ ~ C₁₀ アルキル、
- 3) C₂ ~ C₁₀ アルケニル、
- 4) C₂ ~ C₁₀ アルキニル、
- 5) シクロアルキル、
- 6) ヘテロシクリル、
- 7) アリール、
- 8) ヘテロアリール、
- N R^d R^e、
- C O₂ R^d、
- O R^d、
- C N、および

ハロゲン、

(ここで、場合によっては、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキルおよびヘテロシクリルは、R^a から選択される 1 から 4 個の置換基により置換されており、および場合によっては、アリールおよびヘテロアリールは、R^b から独立に選択される 1 から 4 個の置換基により置換されている)；

R₂ は以下から選択され：

- 1) 水素、
- 2) C₁ ~ C₁₀ アルキル、
- 3) C₂ ~ C₁₀ アルケニル、

C₂ ~ C₁₀ アルキニル、

シクロアルキル、

ヘテロシクリル、

アリール、および

ヘテロアリール、

(ここで、場合によっては、アルキル、アルケニルおよびアルキニル、シクロアルキルおよびヘテロシクリル、アリール、およびヘテロアリールは、R^b から独立に選択される 1 から 4 個の置換基により置換されている)；

R₃ は以下から選択され：

- 1) R^b、
- 2) 水素、
- Z - アリール、
- Z - ヘテロアリール、

(ここで、場合によっては、アリールおよびヘテロアリールは、R^b から独立に選択される 1 から 4 個の置換基により置換されており、および Z は、結合、C、O、S もしくは N R^d である)；

R^a は以下から選択され：

- 1) 水素、
- 2) - O R^d、
- 3) - N O₂、
- 4) ハロゲン、
- 5) - S (O)_m R^d、
- 6) - S R^d、
- 7) - S (O)_m N R^d R^e、
- 8) - N R^d R^e、
- 9) - C (O) R^d、
- 10) - C O₂ R^d、
- 11) - O C (O) R^d、
- 12) - C N、
- 13) - C (O) N R^d R^e、

- 1 4) - N R ^d C (O) R ^e、
 1 5) - O C (O) N R ^d R ^e、
 1 6) - N R ^d C (O) O R ^e、
 1 7) - N R ^d C (O) N R ^d R ^e、
 1 8) - C R ^d (N - O R ^d)、
 1 9) C F ₃ 、 および
 2 0) - O C F ₃ ;

R ^b は以下から選択され：

- 1) R ^a から選択される基、
 2) C _{1 ~ 10} アルキル、
 3) C _{2 ~ 10} アルケニル、
 4) C _{2 ~ 10} アルキニル、
 5) シクロアルキル、
 6) ヘテロシクリル、
 7) アリール、 および
 8) ヘテロアリール、

(ここで、場合によっては、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、ヘテロシクリル、アリール、ヘテロアリールは、R ^c から独立に選択される基から選択される1から4個の置換基により置換されている)；

R ^c は以下から選択され：

- 1) 水素、
 2) アミノ、
 3) カルボキシ、
 4) シアノ、
 5) C _{1 ~ 4} アルキル、
 6) C _{1 ~ 4} アルコキシ、
 7) アリール、
 8) アリール C _{1 ~ 4} アルキル、
 9) ヘテロアリール、
 10) ヒドロキシ、
 11) C F ₃ 、 および
 12) アリールオキシ；

R ^d および R ^e は、水素、C _{1 ~ 10} アルキル、C _{2 ~ 10} アルケニル、C _{2 ~ 10} アルキニルおよびC _y から独立に選択され(ここで、場合によっては、アルキル、アルケニル、アルキニルおよびC _y は、R ^c から独立に選択される1から4個の置換基により置換されている)；

あるいは、R ^d および R ^e は、それらが結合している原子と一緒にになって、酸素、硫黄および窒素から独立に選択される0～2個の付加ヘテロ原子を含む4から7員の環を形成し；

C _y は、シクロアルキル、ヘテロシクリル、アリール、もしくはヘテロアリールから独立に選択され；

mは、1もしくは2であり；

Xは、-N R ^d-、-O-、もしくは、-S-であり；

Yは、結合、-O-、-N R ^a-、もしくは、-S-である。

【請求項2】

R ₁ がC _{1 ~ 10} アルキル(場合によっては、R ^a から選択される1から4個の置換基により置換されている)であり、

R ₂ がC _{1 ~ 10} アルキル(場合によっては、R ^b から独立に選択される1から4個の置換基により置換されている)であり；

Xが、-N R ^d-であり； および

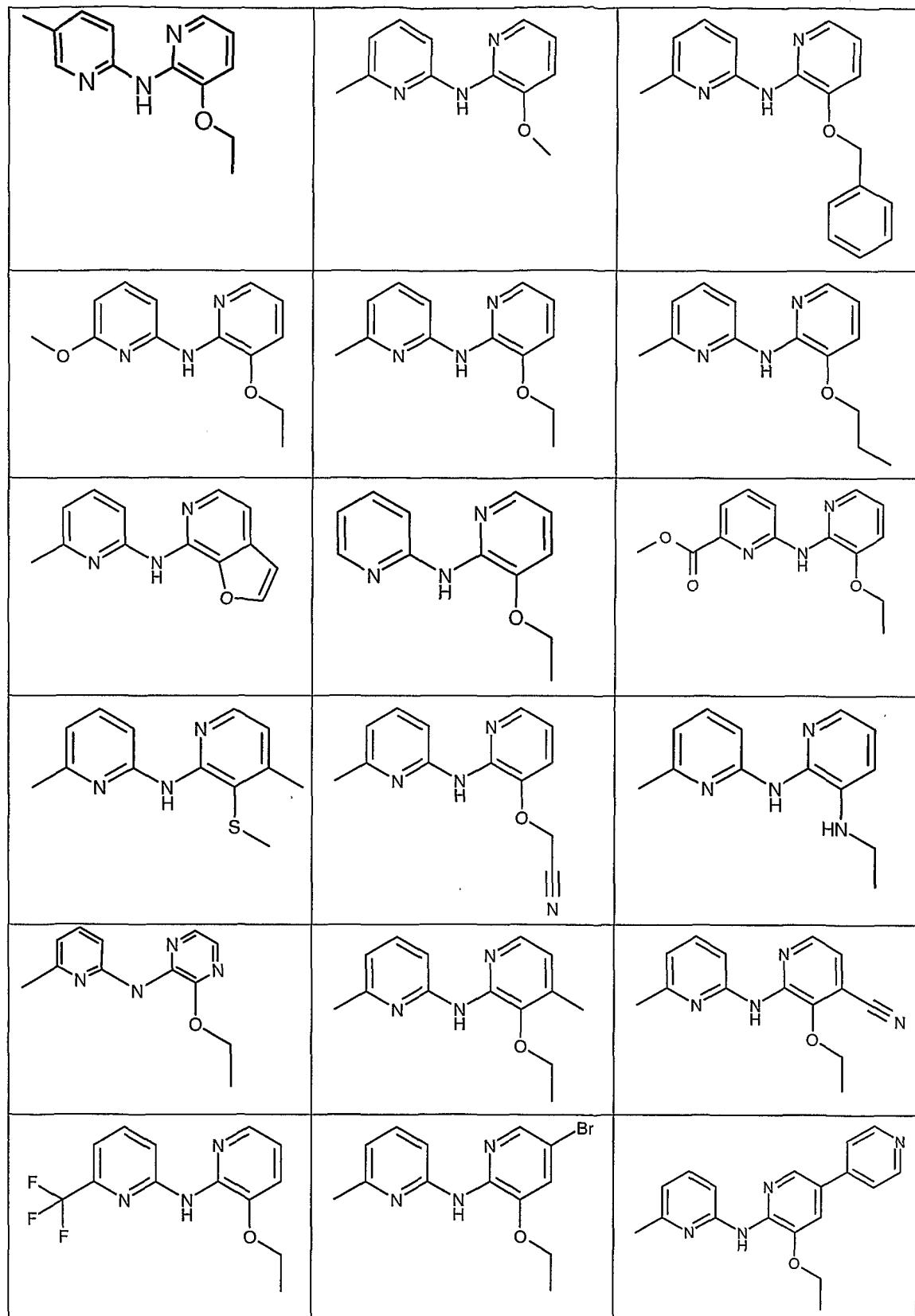
Yが、-O-である；

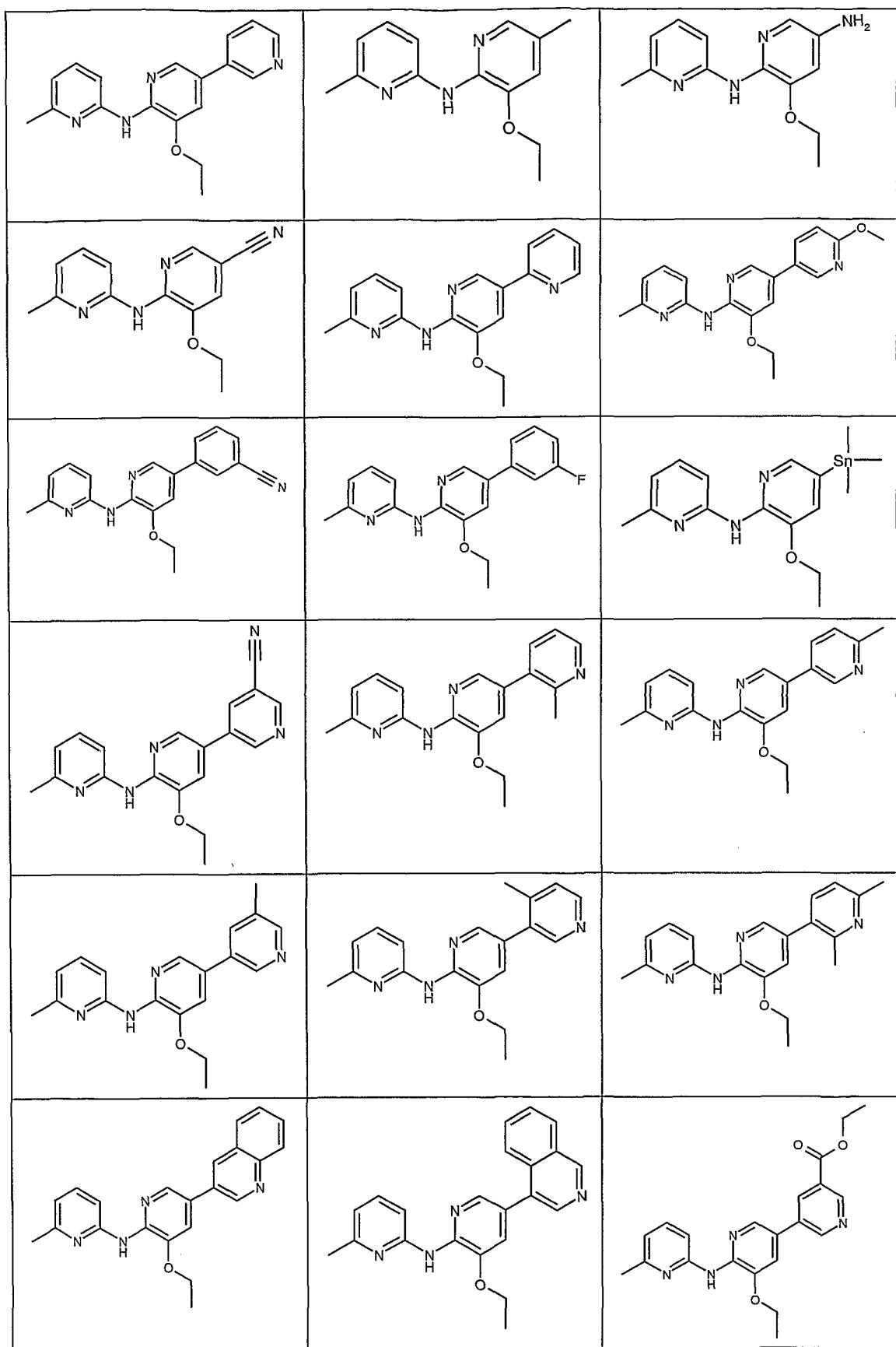
請求項1に記載の化合物、または薬学的に許容されるその塩。

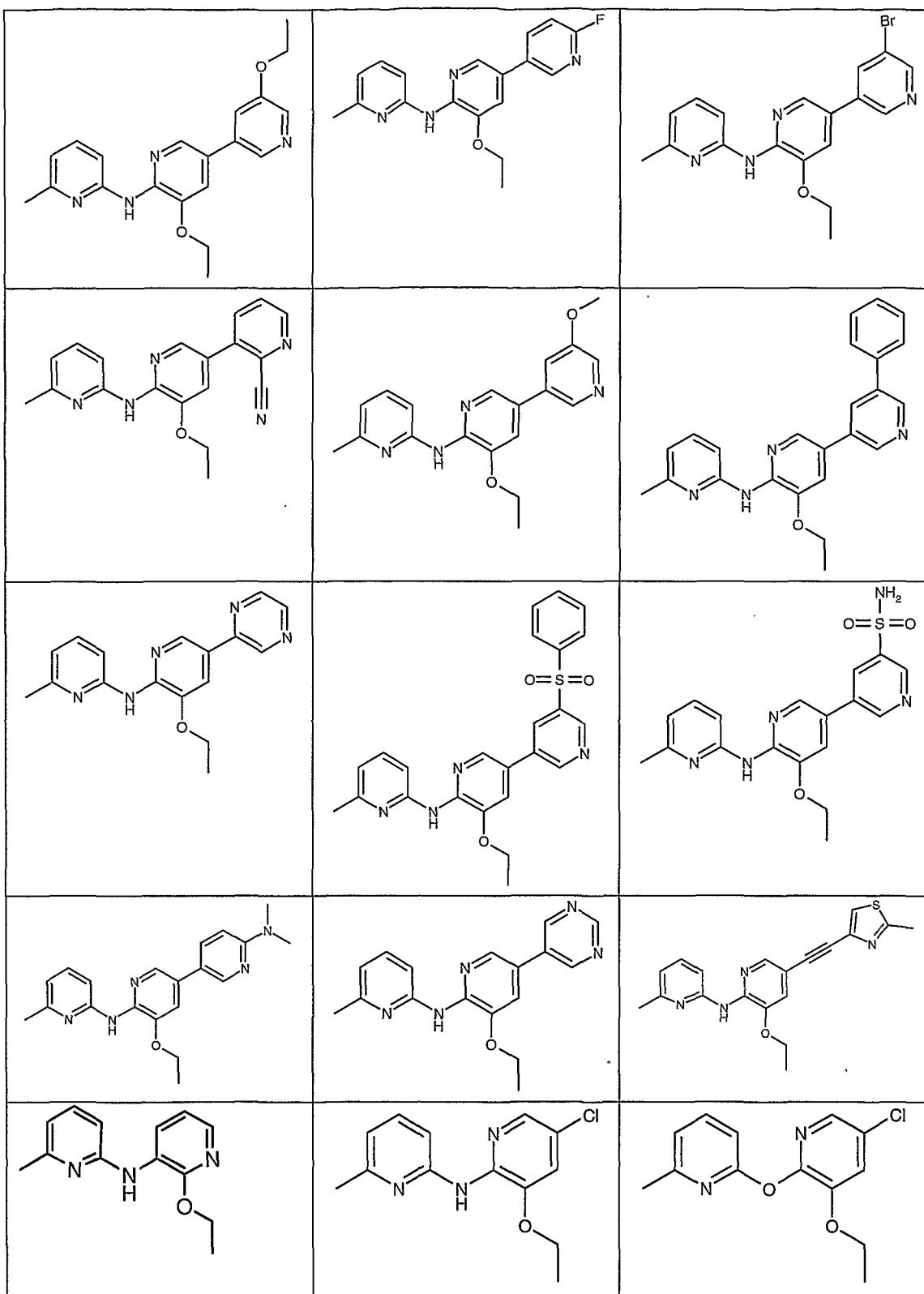
【請求項3】

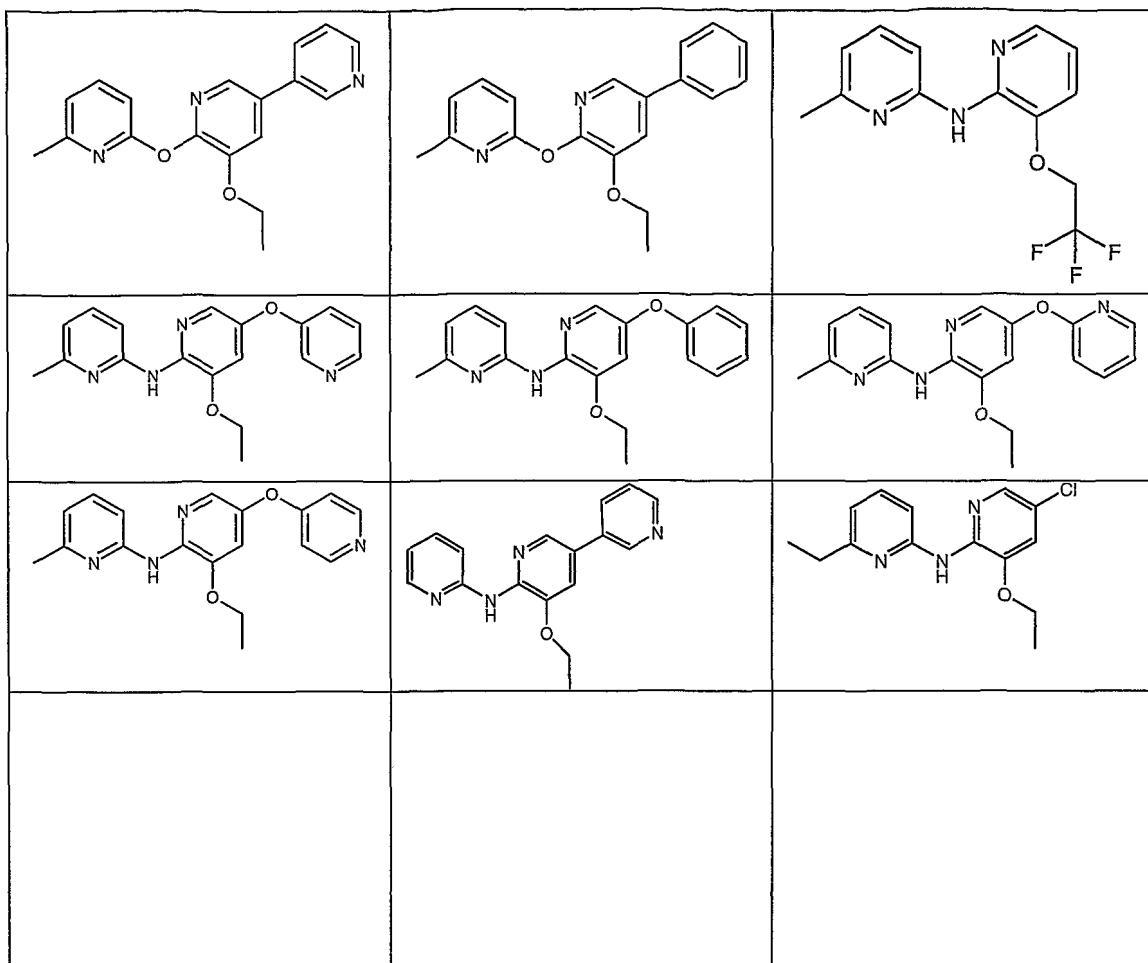
以下の表から選択される化合物、または薬学的に許容されるその塩：

【化2】





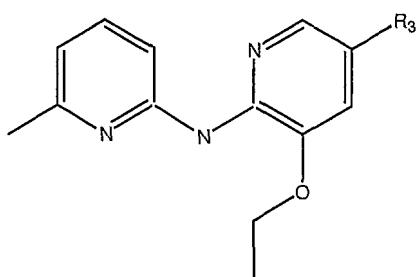




【請求項 4】

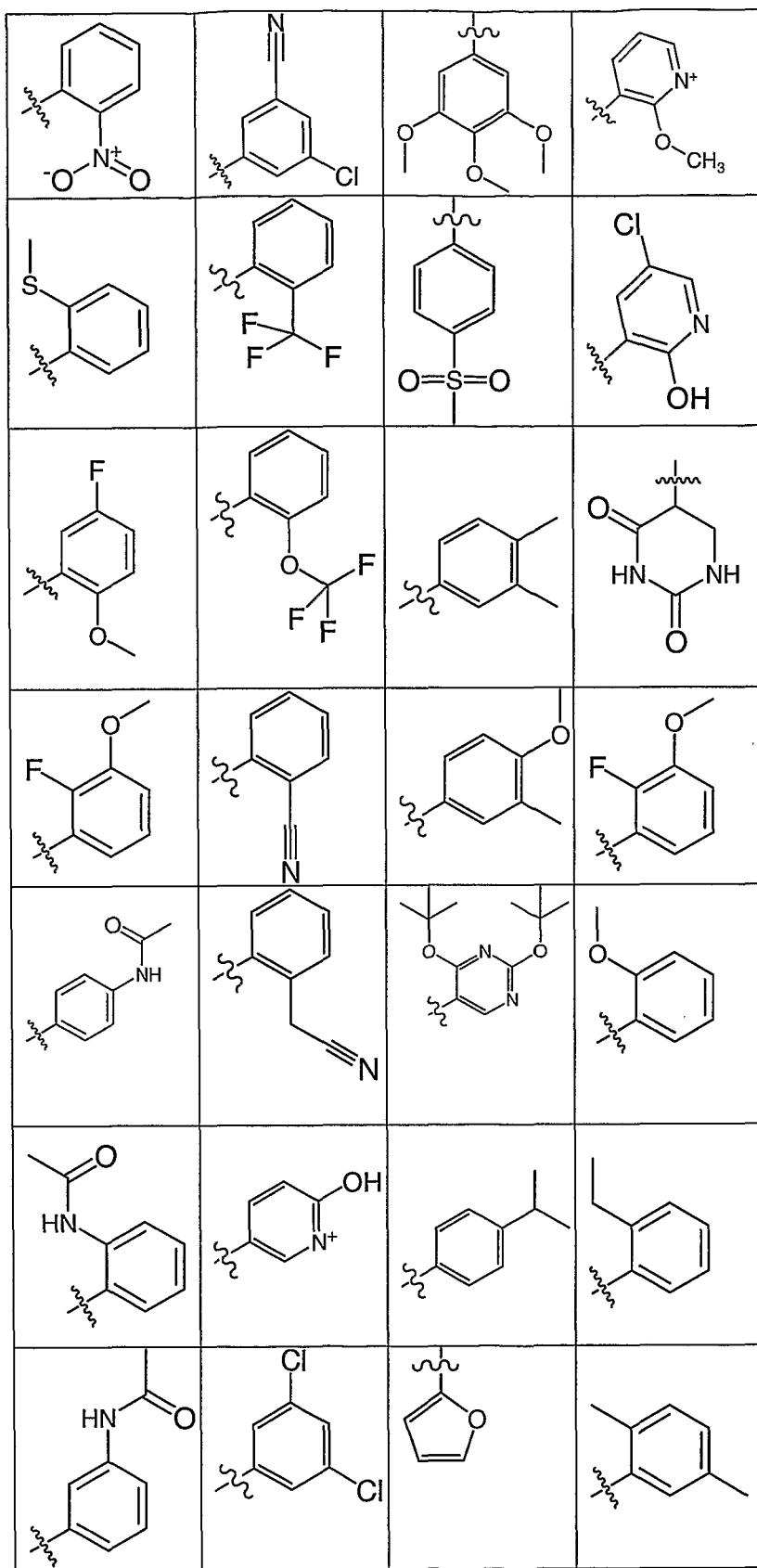
次の式により表される化合物、または薬学的に許容されるその塩：

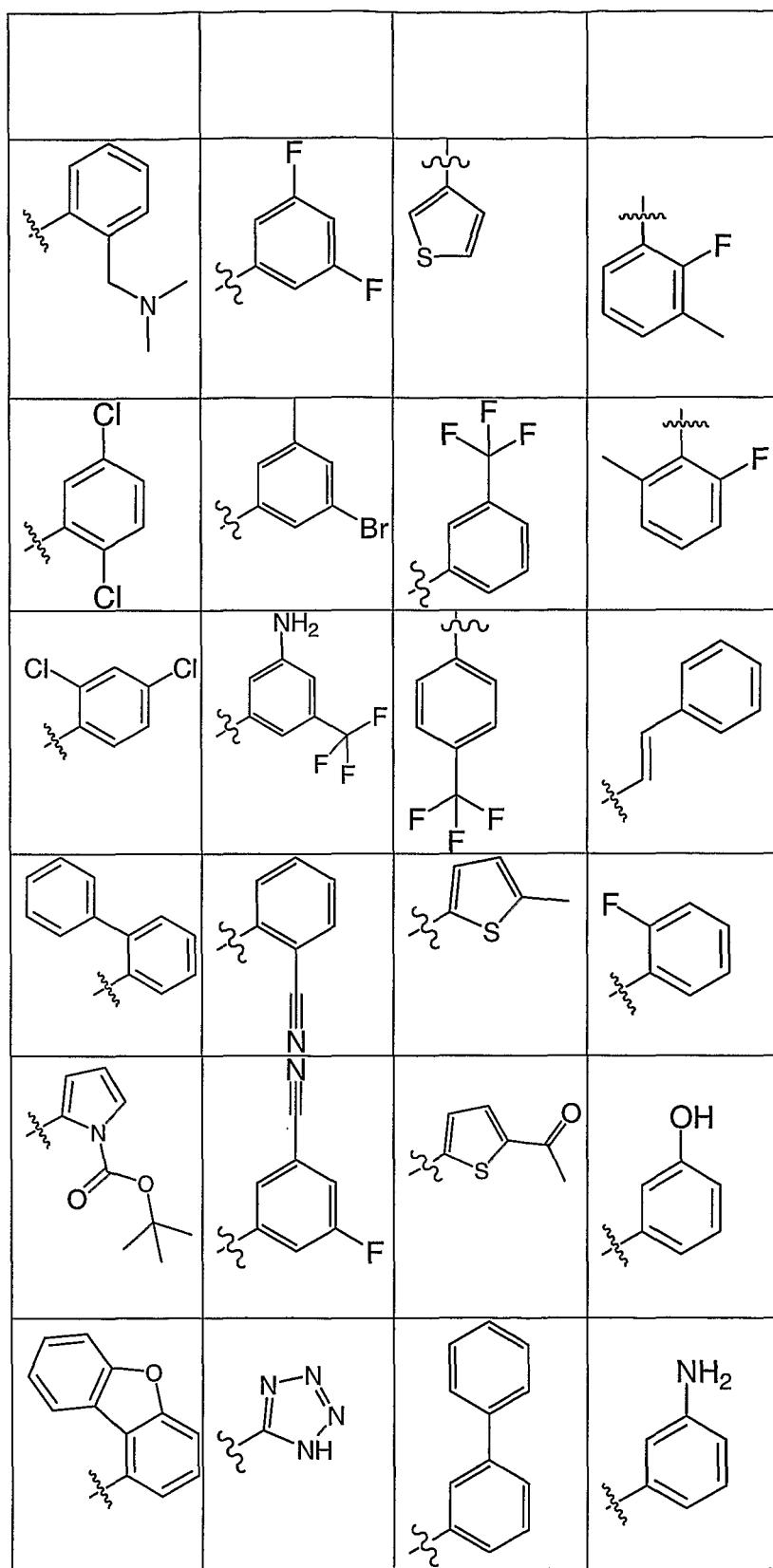
【化 3】

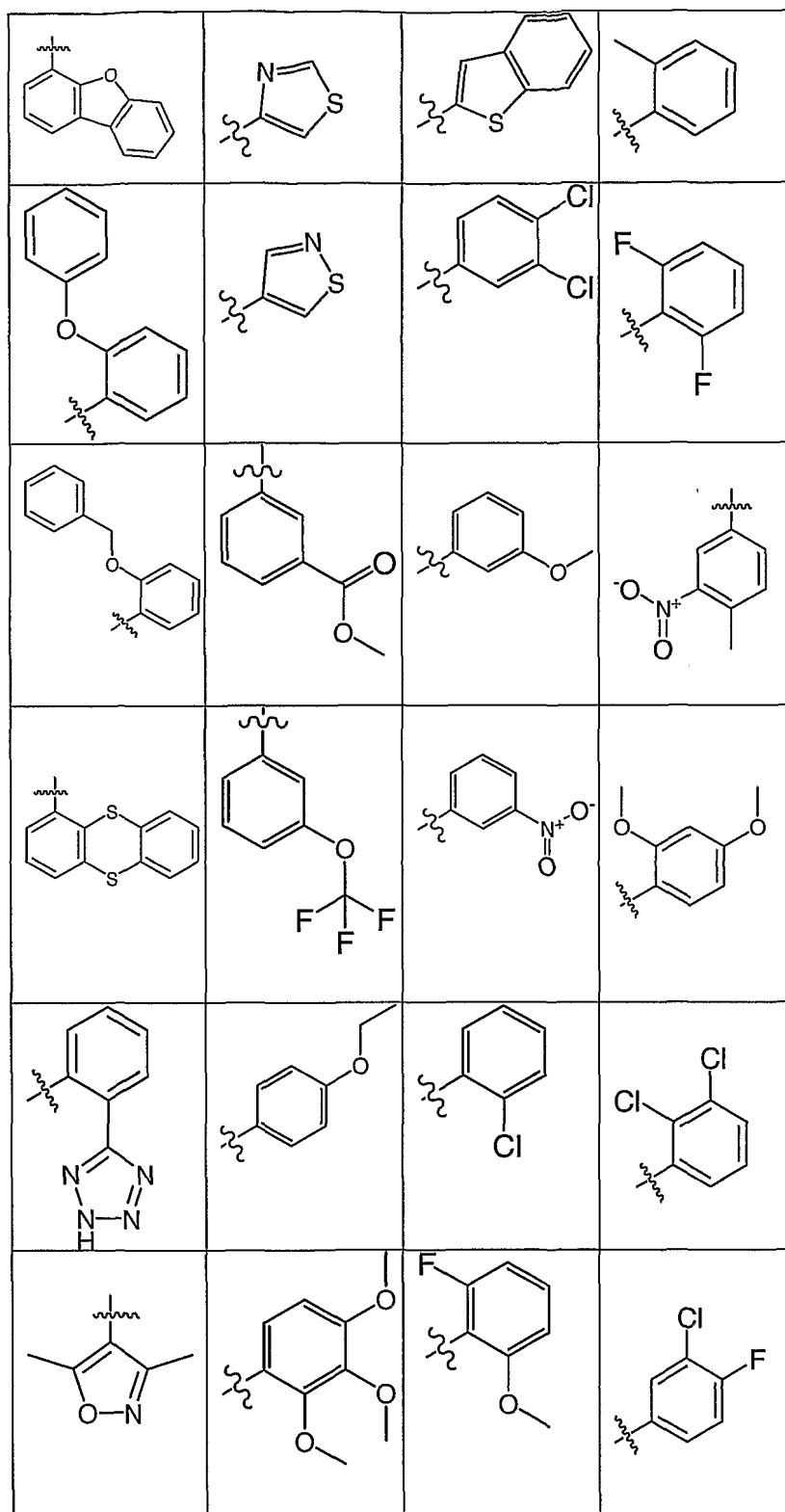


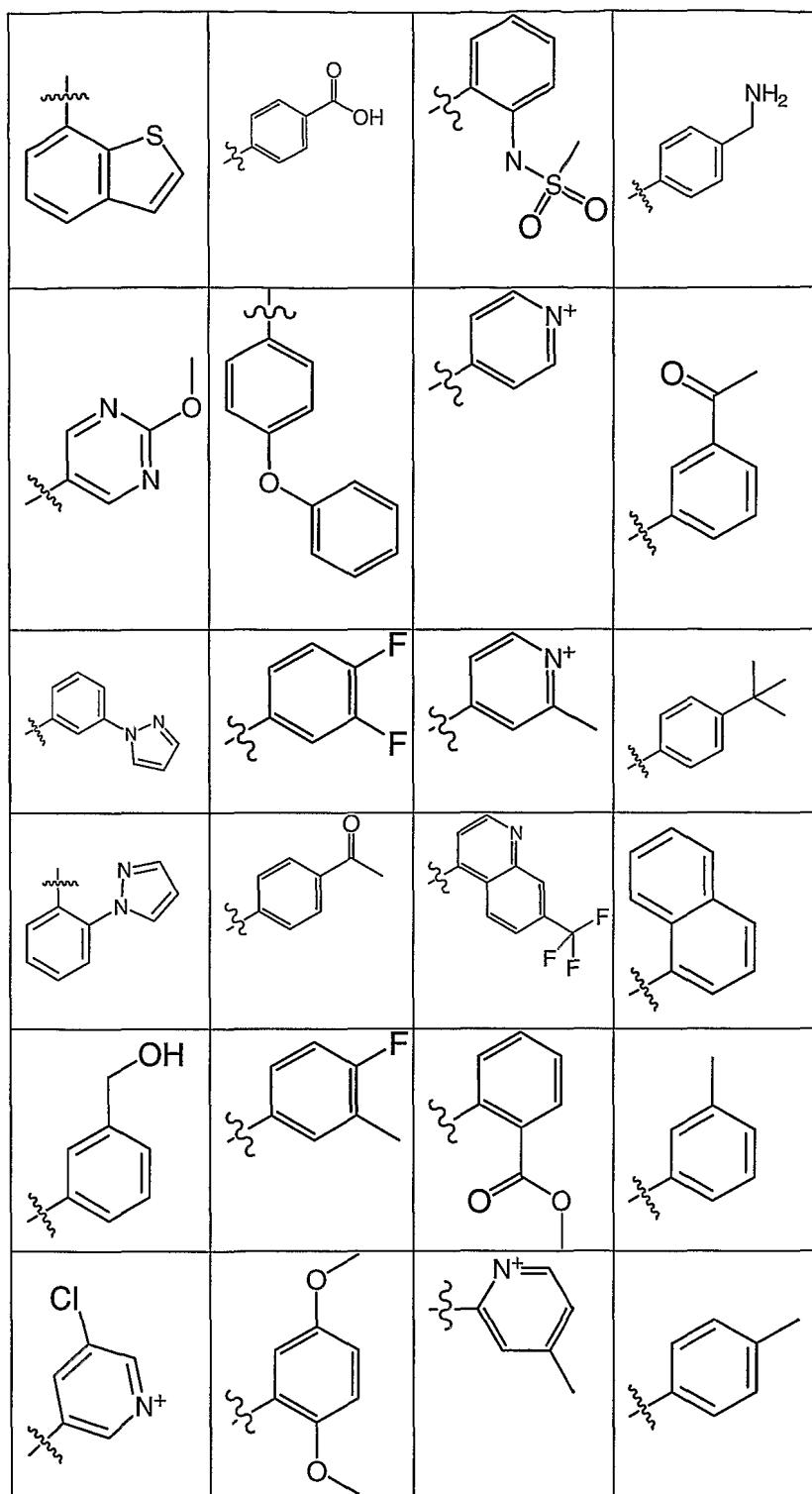
式中、R₃ は以下から選択される：

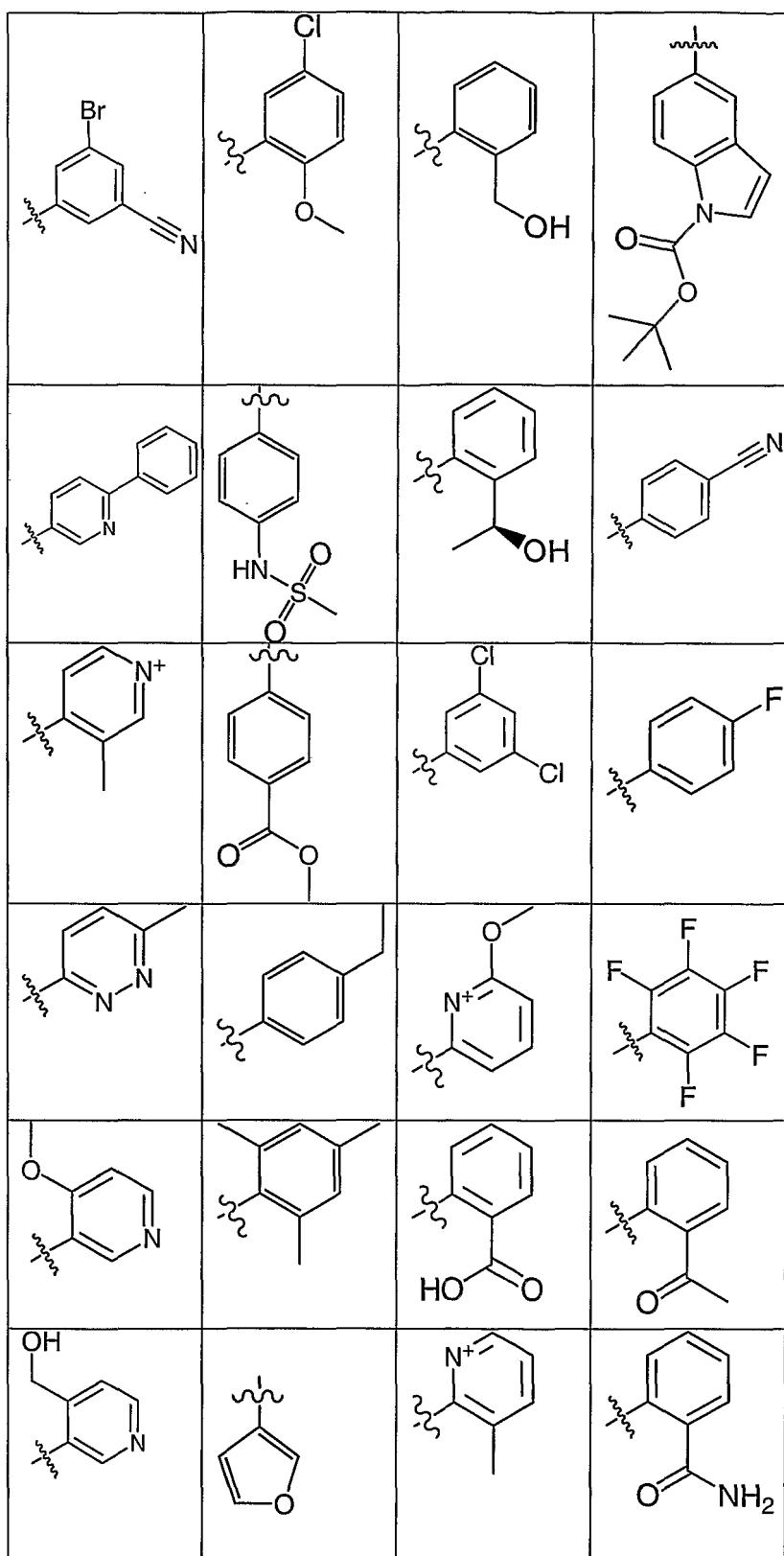
【化4】

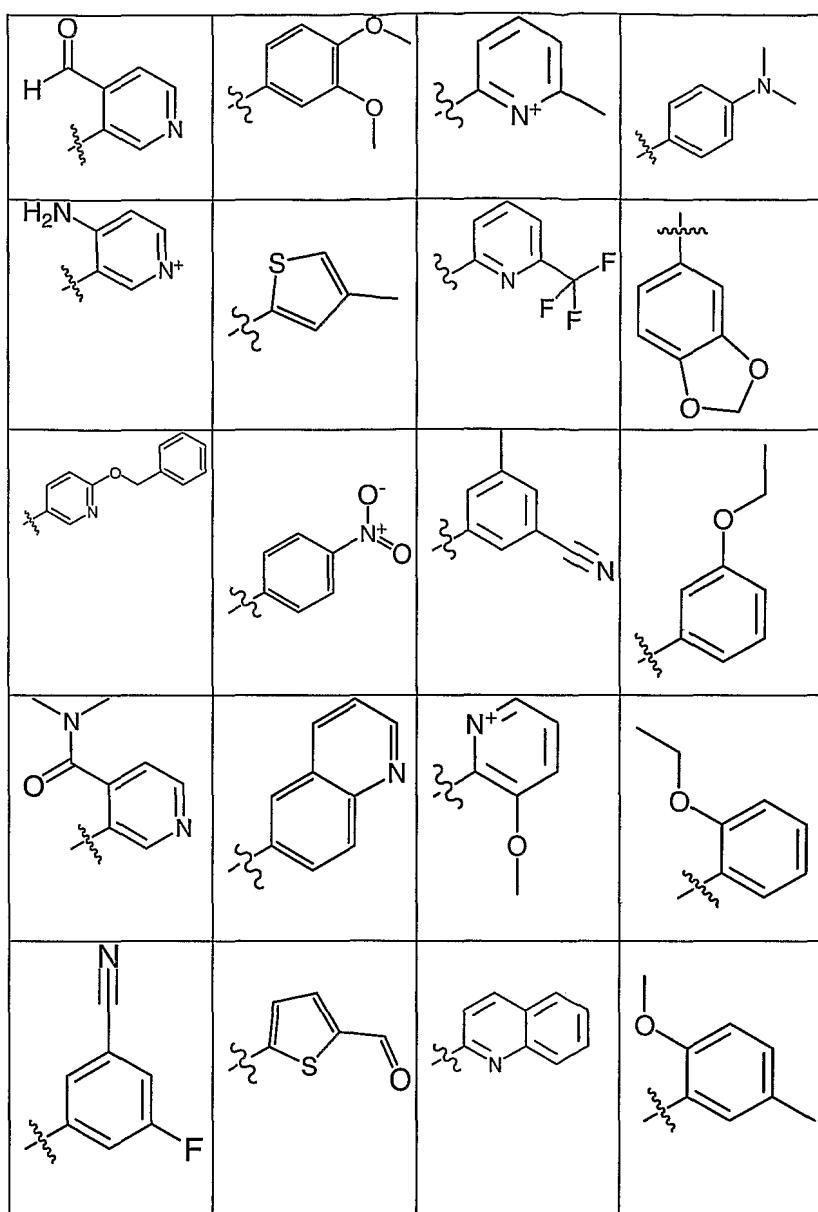










**【請求項 5】**

治療に有効な量の請求項 1 に記載の化合物、または薬学的に許容されるその塩、および、薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 6】

治療に有効な量の請求項 2 に記載の化合物、または薬学的に許容されるその塩、および、薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 7】

治療に有効な量の請求項 3 に記載の化合物、または薬学的に許容されるその塩、および、薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 8】

治療に有効な量の請求項 4 に記載の化合物、または薬学的に許容されるその塩、および、薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 9】

疼痛を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

急性疼痛、持続性疼痛、慢性疼痛、炎症性疼痛または神経障害性疼痛である疼痛障害を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

不安、抑うつ、双極性障害、精神病、薬物離脱、タバコ離脱、記憶喪失、認知機能障害、認知症、アルツハイマー病、統合失調症もしくはパニックを治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

パーキンソン病を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

不安障害を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記不安障害が、パニック発作、広場恐怖症もしくは特殊な恐怖症、脅迫性障害、心的外傷後ストレス障害、急性ストレス障害、全般性不安障害、摂食障害、物質誘発性不安障害または非特異的不安障害である、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

神経障害性疼痛を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

抑うつを治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

癲癇を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

炎症性疼痛を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

認知障害を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

薬物中毒、薬物乱用および薬物離脱を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 21】

双極性障害を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 22】

概日リズムおよび睡眠の障害を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 23】

前記概日リズムおよび睡眠の障害が交代勤務誘発睡眠障害もしくは時差ぼけである、請求項 22 に記載の医薬組成物。

【請求項 24】

肥満を治療または予防するための、請求項 5 に記載の医薬組成物。